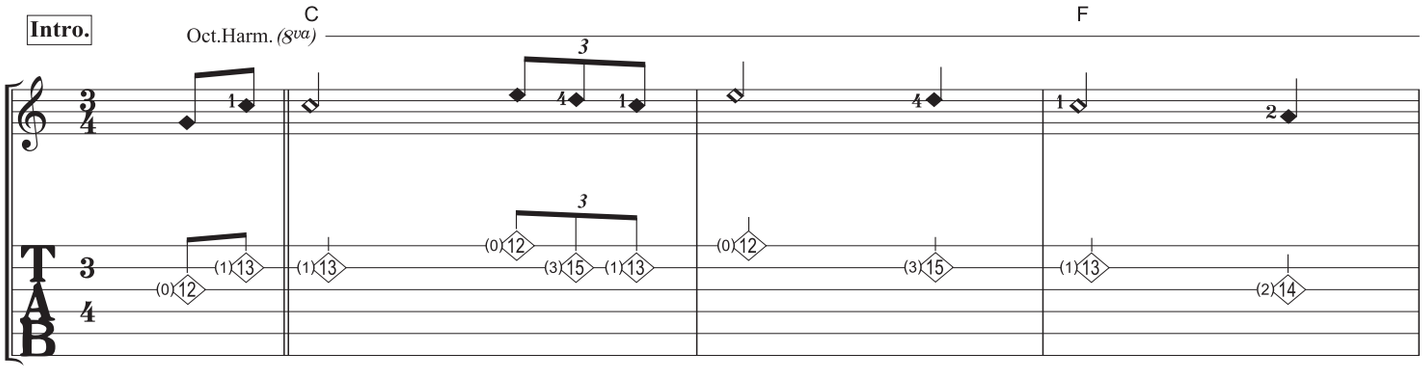
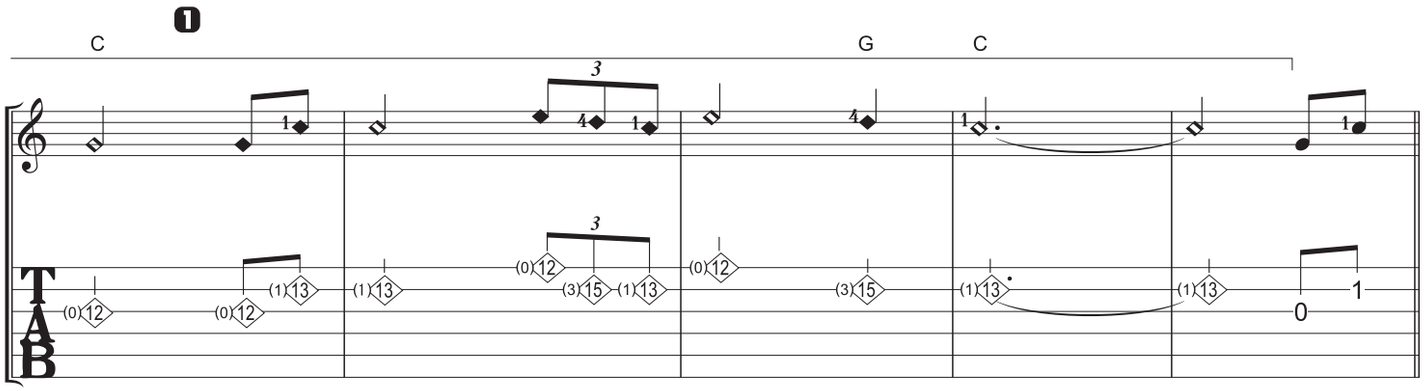
アメイジング・グレイス

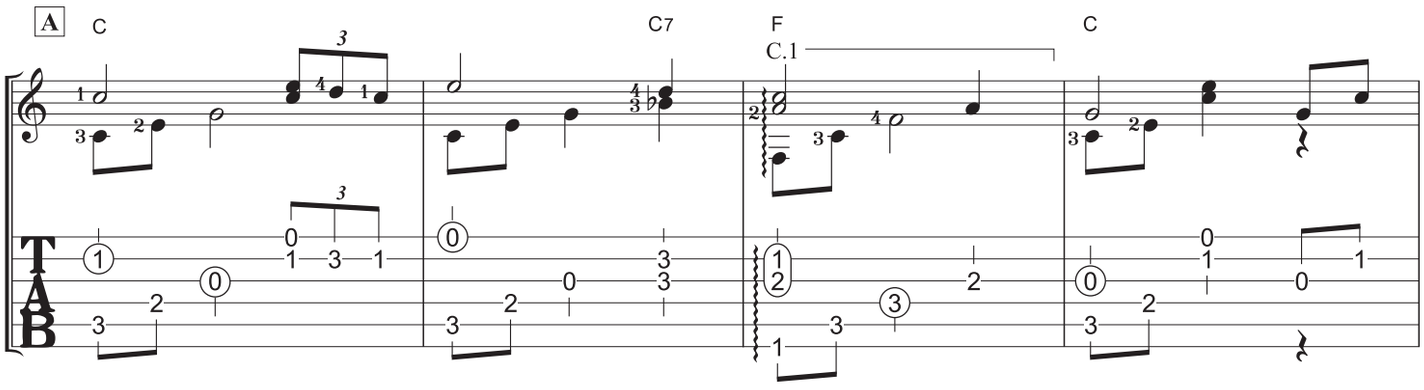
Amazing Grace

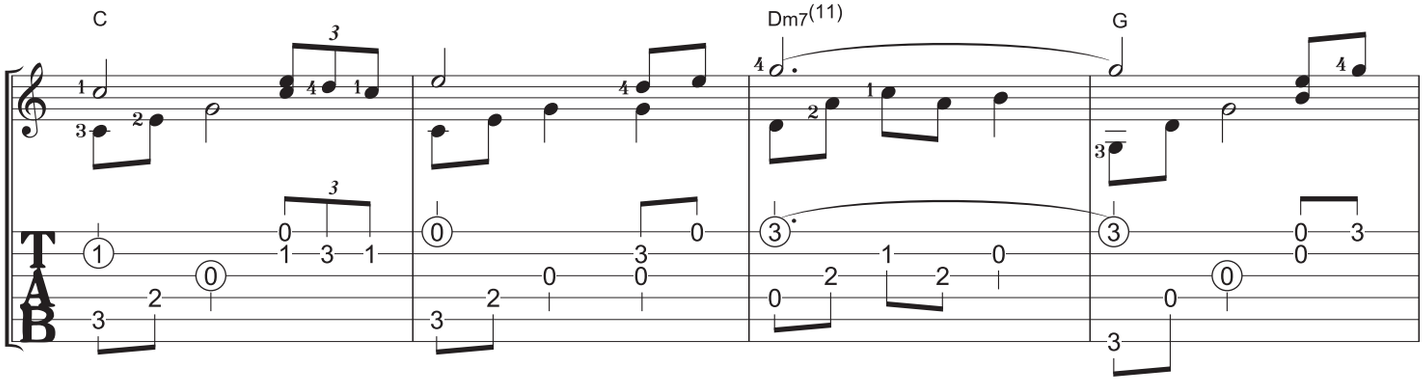
by James Carrell & David Clayton

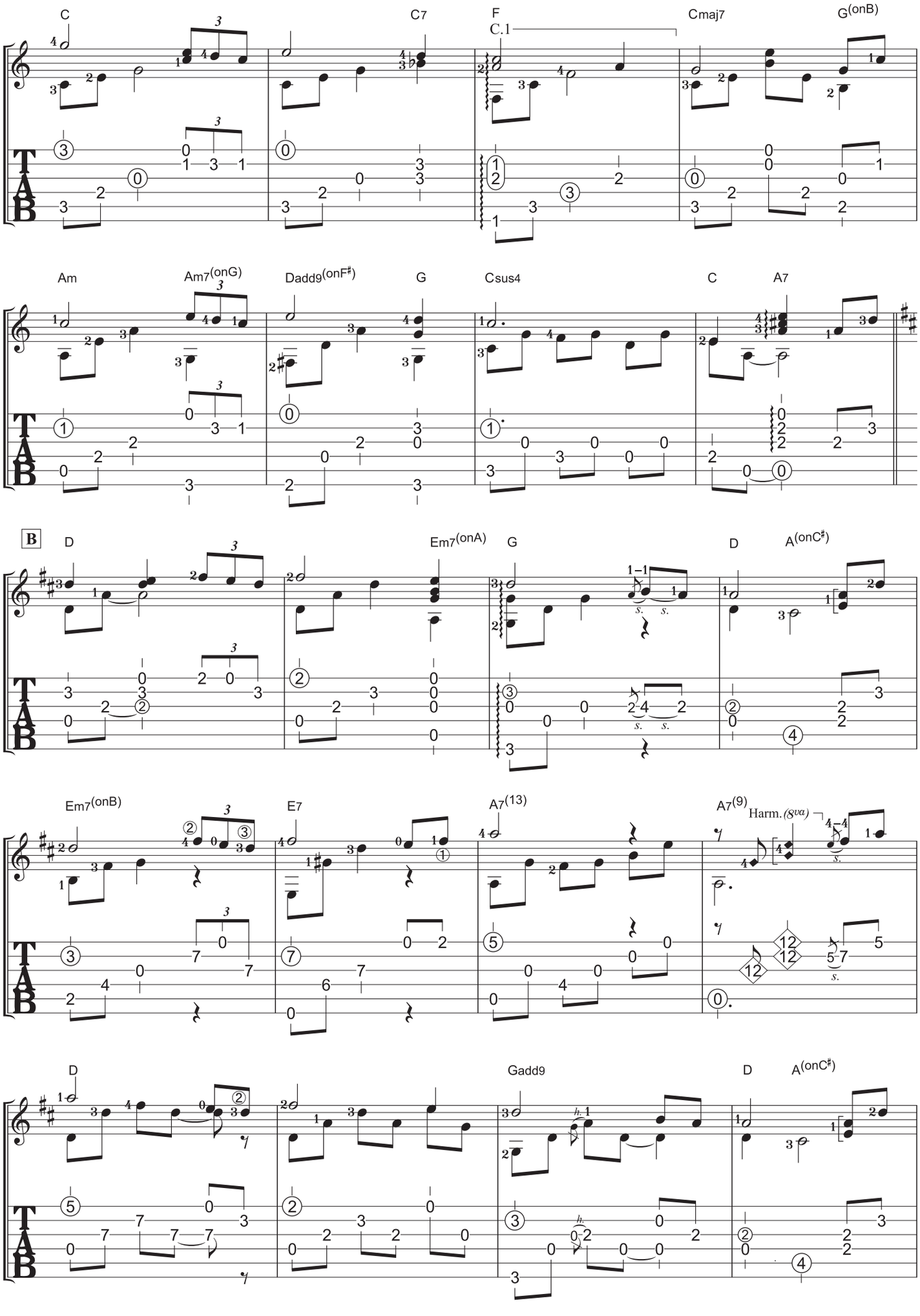
Tuning＝Standard　Capo＝1

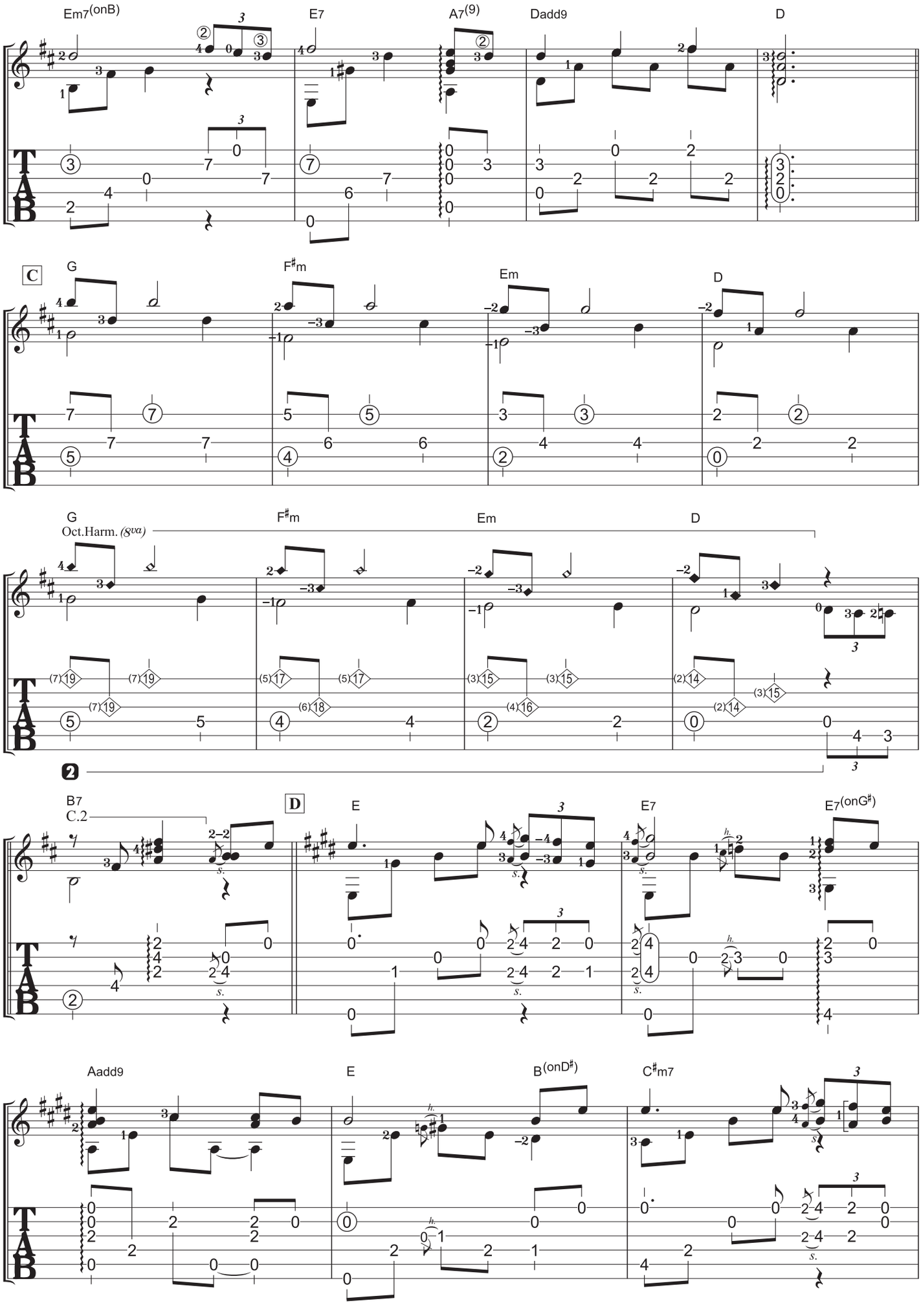


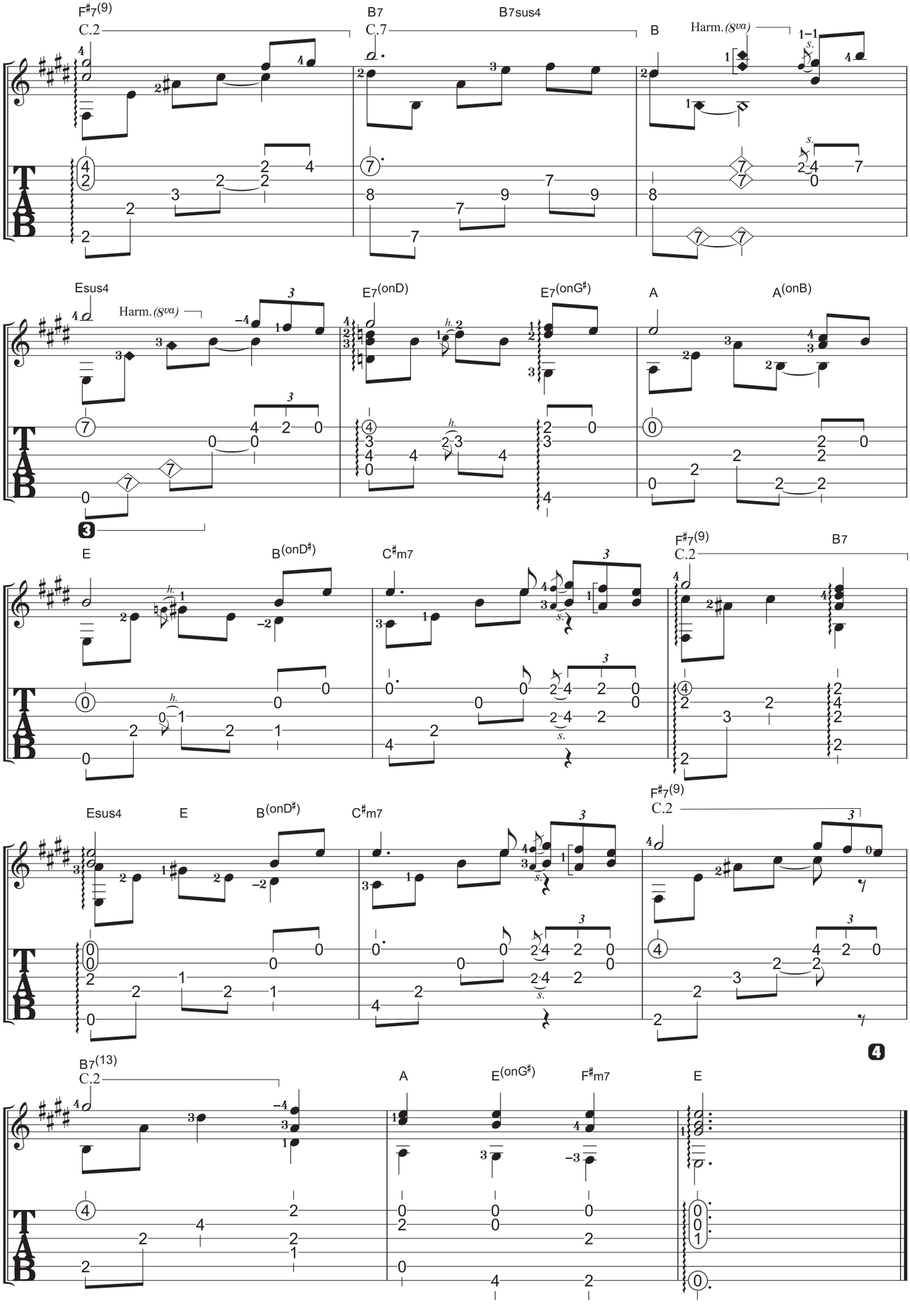


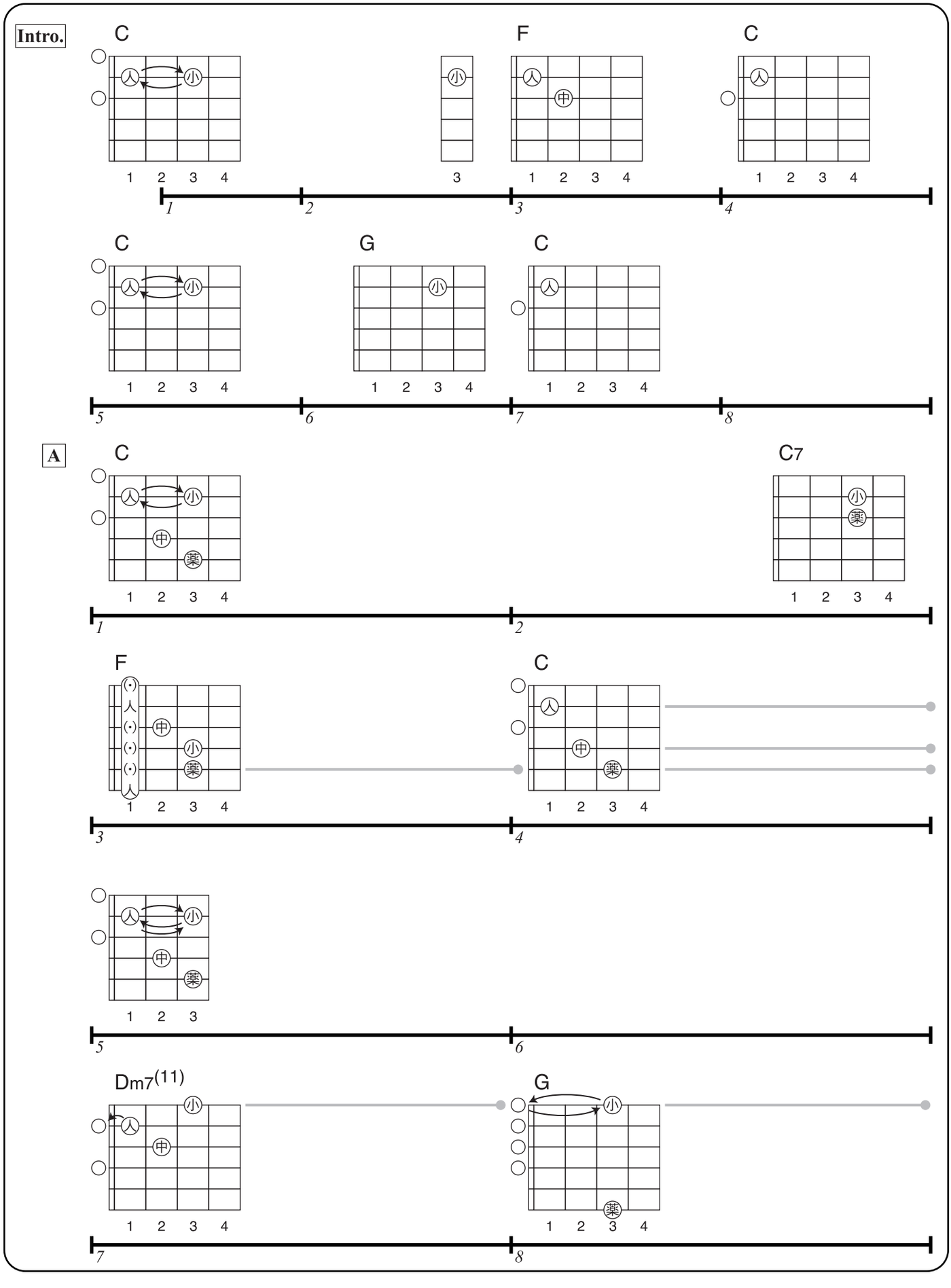


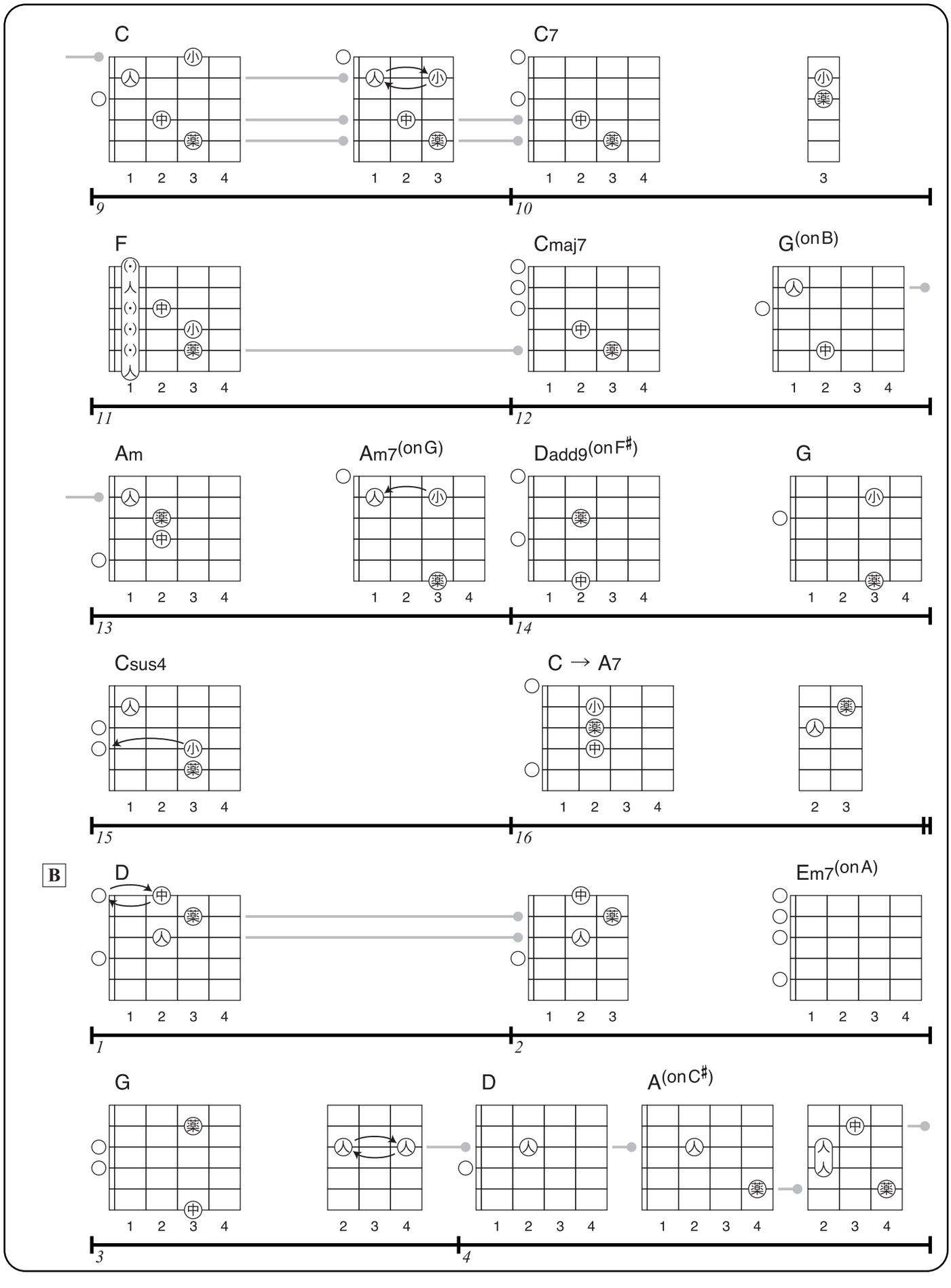


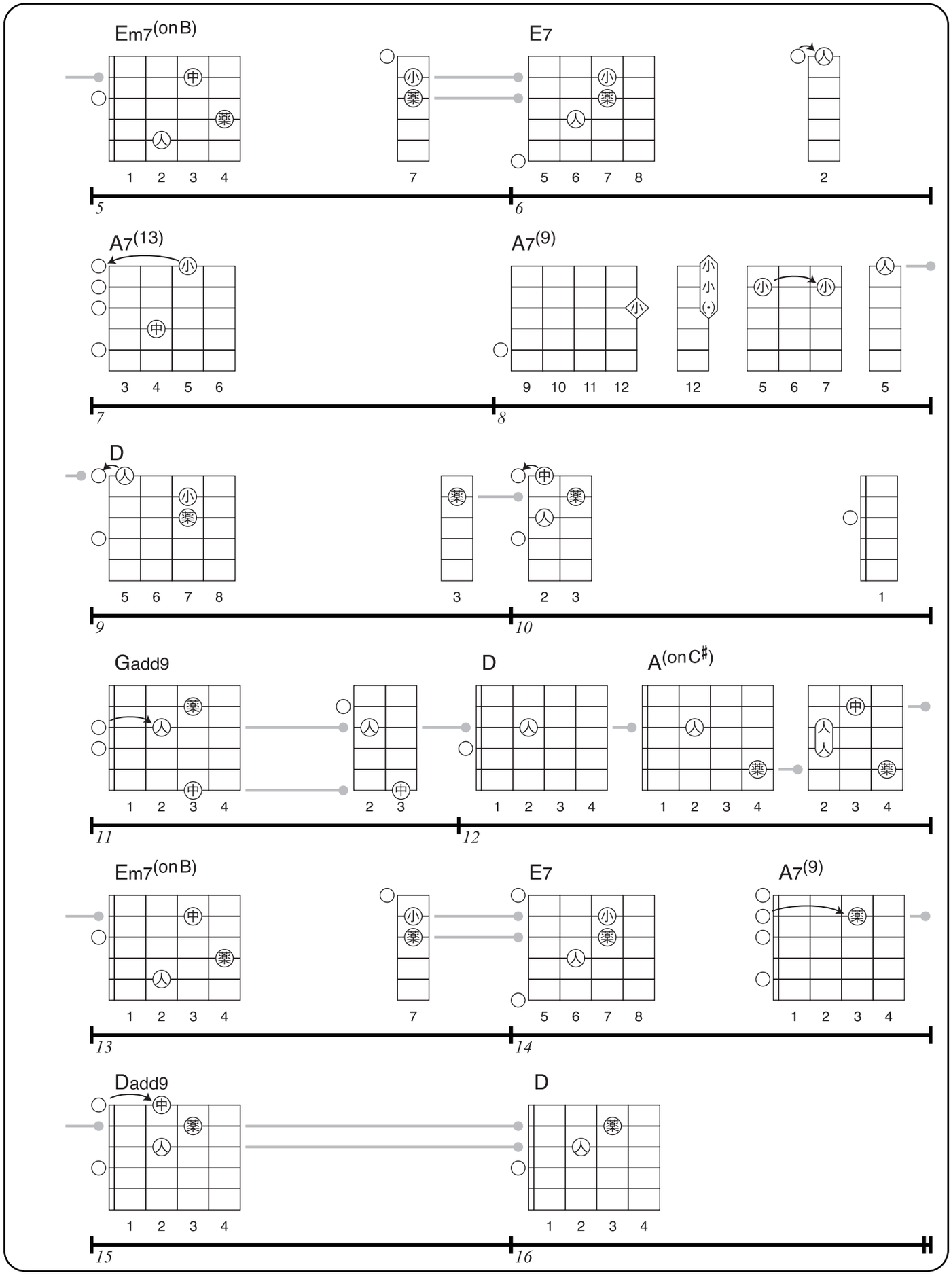

C
C7
F
C.1
Cmaj7
G(onB)
Am
Am7(onG)
Dadd9(onF♯)
G
Csus4
C
A7
B
D
Em7(onA)
G
D
A(onC♯)
Em7(onB)
E7
A7(13)
A7(9)
Harm.
(8va)
D
Gadd9
D
A(onC♯)

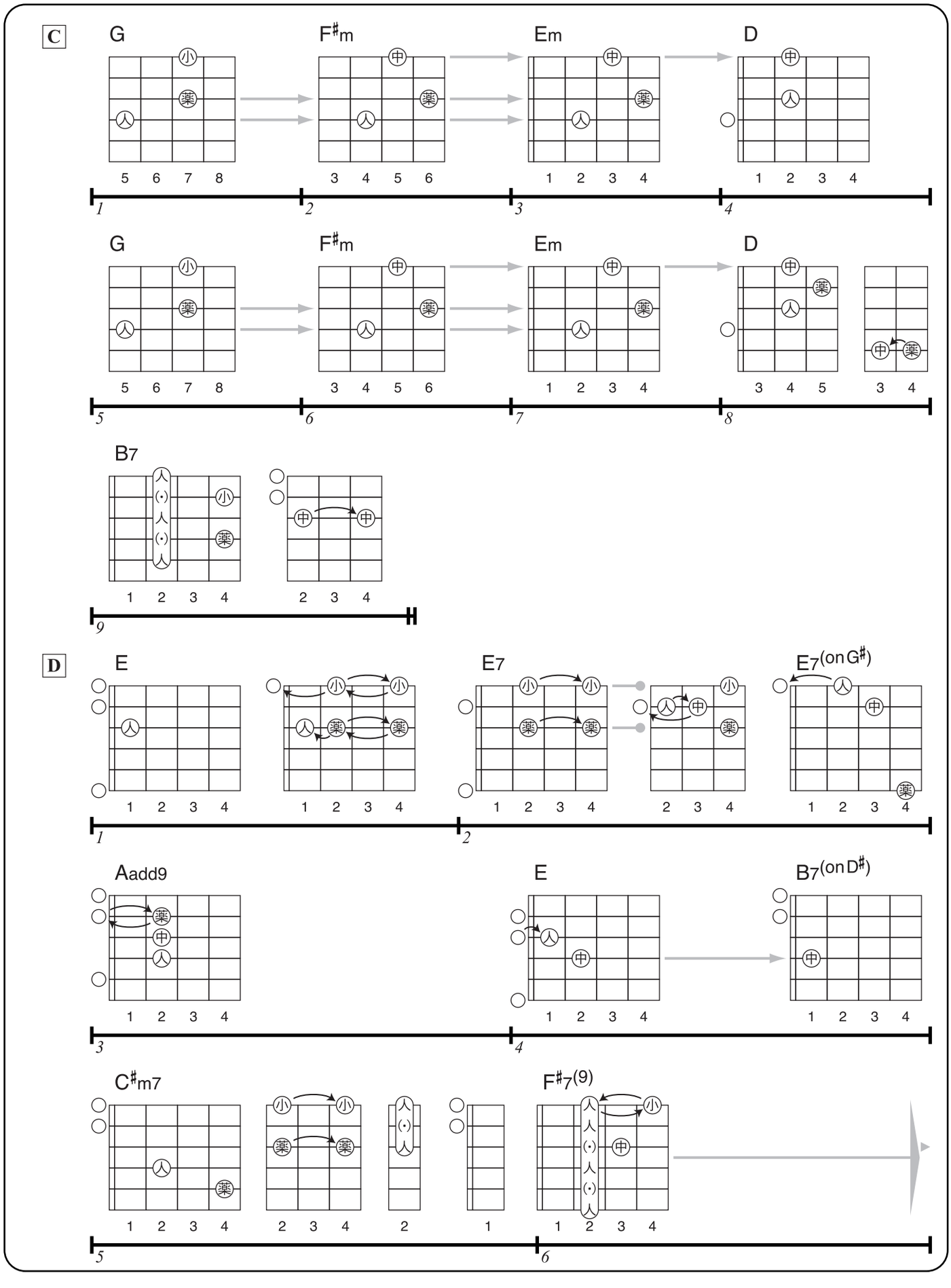

Em7(onB)
E7
A7(9)
Dadd9
D
C
G
F♯m
Em
D
G
Oct.Harm. (8va)
F♯m
Em
D
B7
C.2
D
E
E7
E7(onG♯)
Aadd9
E
B(onD♯)
C♯m7

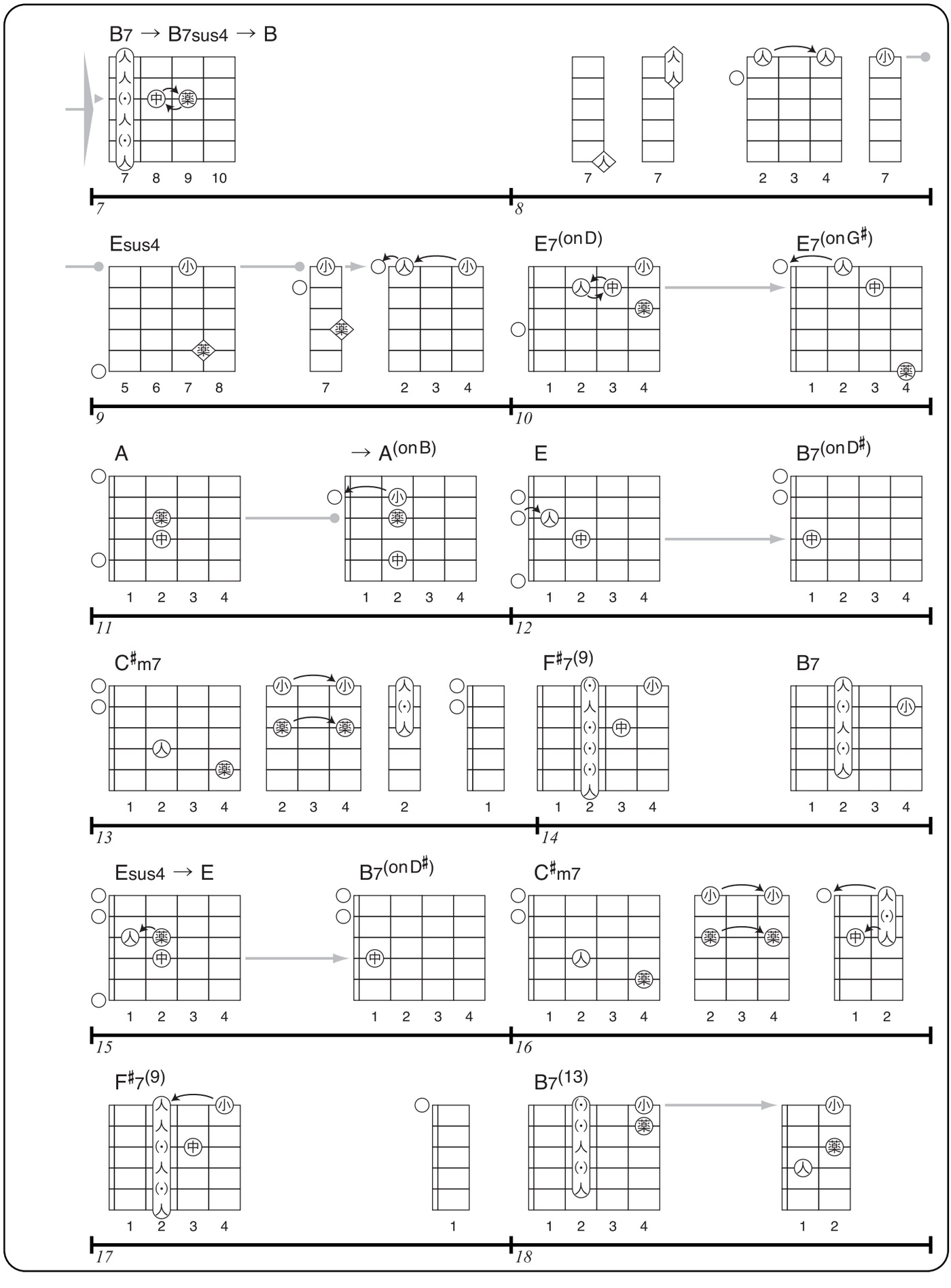

F♯7(9)
C.2
B7
C.7
B7sus4
B
Harm. (8va)
Esus4
Harm. (8va)
E7(onD)
E7(onG♯)
A
A(onB)
3
E
B(onD♯)
C♯m7
F♯7(9)
C.2
B7
Esus4
E
B(onD♯)
C♯m7
F♯7(9)
C.2
4
B7(13)
C.2
A
E(onG♯)
F♯m7
E

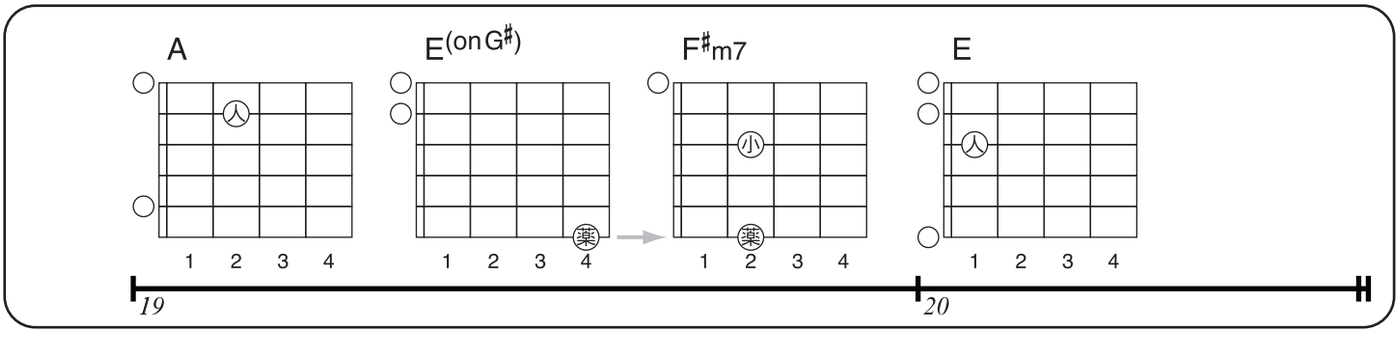

Intro.
C
F
C
C
G
C
A
C
C7
F
C
Dm7(11)
G


C
C7
F
Cmaj7
G(on B)
Am
Am7(on G)
Dadd9(on F♯)
G
Csus4
C → A7
B
D
Em7(on A)
G
D
A(on C♯)
9
10
11
12
13
14
15
16
1
2
3
4


Em7(onB)
E7
A7(13)
A7(9)
D
Gadd9
D
A(onC♯)
Em7(onB)
E7
A7(9)
Dadd9
D
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16


C
G
F♯m
Em
D
G
F♯m
Em
D
B7
D
E
E7
E7(on G♯)
Aadd9
E
B7(on D♯)
C♯m7
F♯7(9)


B7 → B7sus4 → B
Esus4
E7(on D)
E7(on G♯)
A
→ A(on B)
E
B7(on D♯)
C♯m7
F♯7(9)
B7
Esus4 → E
B7(on D♯)
C♯m7
F♯7(9)
B7(13)


A
E(on G♯)
F♯m7
E
人
薬
小
薬
人
1 2 3 4
1 2 3 4
1 2 3 4
1 2 3 4
19
20

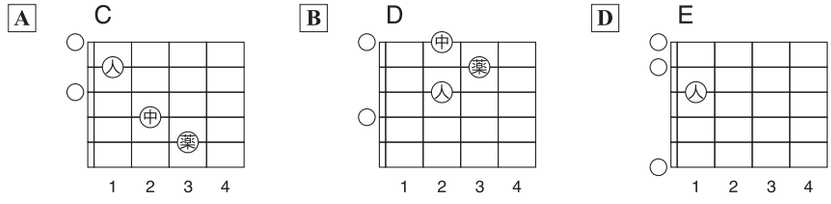
アメイジング・グレイス
Amazing Grace

数々の映画やドラマでも使用され、クリスマス・ナンバーの超定番としても愛される讃美歌の名曲。ギターならではのハーモニクスとアルペジオが美しく、静かに響きます。

ピックアップ・テクニック

転調の捉え方

曲の途中でキー(調)を変える事を転調と言いますが、ここでは難しい事はありません。Cコード → Dコード → Eコードと3回変わり、頻出するコード・フォームが順次に変わると覚えておきましょう。



演奏のポイント

❶ Intro.のオクターブ・ハーモニクスでは先ず左手のポジションを正確に捉えます。不慣れな内は、◇内の数字を通常のピッキングを用いて出音を確認すると良いでしょう。

❷ Cのフレーズ、5～8小節目のオクターブ・ハーモニクスの左手のコード・フォームは、1～4小節の形をそのまま適用してプレイします。

❸ 1弦7フレットの左手小指の音を保持しつつ、ナチュラル・ハーモニクスをピッキングします。また、3拍目3連符3つ目の音、1弦の開放弦をピッキングする際、左手は次のEm7(onD)のコード・フォームの準備を行います。

❹ 6弦までセーハしている左手を、3拍目3連符3つ目の音、1弦の開放弦をピッキングする際に離弦させ、B7(13)の準備をし、5弦のセーハに切り替えます。

ディレクターズ・メモ

垂石:「ギターの音ってこんなに美しいんだ！」って言ってもらえるようなアレンジにしたいなと思いました。同時期に作ってリリースしたクリスマス・アルバム"Pray for Christmas"と合わせて、2種類のアメイジング・グレイスのアレンジを作っていたのを覚えています。

夏目:このアレンジは3音で作られた"C"の部分をいかに厳かに弾くか。そして転調を繰り返して、どれだけ厳かな雰囲気を膨らませていけるかでしょう。

垂石:最後のゴスペル調のフレーズに向かって各場面の変化みたいなものを楽しんでもらえればうれしいですね。"Intro"のハーモニクスもゆっくり、落ち着き払って弾く。これがムズカシイ。人前で弾いたら緊張してミスするかも…と思ったら思い切ってカットしましょう(笑)

夏目:やっぱり"C"を決めたいね。ハーモニクスが出てくる前の"C"始まり4小節を丁寧に弾くと全体がしまると思います。